

最新情報

1) Move Stage to Absolute Position ダイアログボックス

電動 XY ステージを使用する場合で、あらかじめキャリブレーションを行っておきますと、[Devices]メニュー [Move Stage to Absolute Position] 機能で Move Increment から Overlap Images (CCD カメラの取り込み画像サイズに対して90%のサイズを用いて移動させる) Space Images (CCD カメラの取り込みサイズに対して110%のサイズを用いて移動させる) が選択できます。これを用いることで Stitch や Cell カウントなどが効率よく行えます。詳しくは、当社担当までお問い合わせください。

2) Meta シリーズ Version 6.2 リリース情報

Meta シリーズ Version 6.2 がリリースされます。

V6.2 では次のような機能をはじめ、大幅に使い勝手が向上されます。

☆ 対物レンズごとに電動顕微鏡ノブ解像度 (xxxx um/rotation) が設定できます。

☆ Multidimensional Acquisition (MDA) で波長と Z スキャンを併用する場合、Z スキャンを優先するか？ 波長切替を優先するか？ Z スキャン中にシャッターを開いたままスキャンするか？ の指定が可能になります。また画像取り込みにあたり、実験開始時と終了時のみ画像を取得する、指定した周期で画像を取得する、毎回オートフォーカスする、初回のみオートフォーカスする、指定した周期でオートフォーカスする、画像取得前に Journal を起動する、画像取得後に Journal を起動する、タイムポイント前に Journal を起動する、タイムポイント後に Journal を起動する、データ取得開始前に Journal を起動する、データ取得後に Journal を起動するなど細かく指定・実行できるようになります。これにより、複雑なルーチンを要するお客様のアプリケーションにも対応が可能となります。

☆ MDA で XY ステージを使用している場合に、インターバル時間中に XY ステージのジョイスティックを操作で位置変更し、その位置情報を用いて画像取得継続が可能となります。

☆ MDA でインターバル時間中にインターバル時間の変更が容易にできるようになりました。

☆ MDA 設定ダイアログでデータ取得設定の情報確認が行えるようになります。

☆ ウィンドウズ エクスプローラから Stack 形式ファイルはじめとし Meta がサポートしているファイルを Meta デスクトップにドラッグ アンド ドロップするだけで画像を開くことができるようになります。(複数ファイルの指定可能)

☆ Meta シリーズの [File] メニュー [Open...] 機能で複数ファイルを選択し、Meta デスクトップ内に画像展開することができるようになります。

☆ Minimize images during acquisition ボタンが備わり、データ取得中に画像表示を必要としない場合に取り込み画像の最小化が容易に行えるようになります。

☆ デジタル CCD カメラでもフレームアベレーシングが可能となります。(CCD による)

3) ORCA-ER(RS-422 タイプ)

従来は浜松ホトニクス製 ORCA-ER(RS-422 タイプ) は、MV1500 オプションで制御していましたが V6.2 より新しいオプション (PC-DIG ドライバ) が使用できるようになります。

これにより MV1500 オプションで生じていた取り込み速度をビニング無しの状態では向上できないという点が解消されます。ちなみに新しいオプションですと、ビニング無しで100ミリ秒露光での取り込みが、8フレーム程度になります。(従来比 およそ8倍)

なおドライバのモデルならびに金額は今しばらくお待ちください。

※未確認ですが、ORCA2-ER(RS-422) も制御可能になると思われます。

以上